

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【公表番号】特表2016-513532(P2016-513532A)

【公表日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2016-500561(P2016-500561)

【国際特許分類】

|         |       |           |
|---------|-------|-----------|
| A 6 1 L | 31/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 9/70  | (2006.01) |
| A 6 1 P | 29/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 37/08 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/04 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/12 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/02 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 43/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 7/02  | (2006.01) |
| A 6 1 P | 17/02 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/12  | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/10  | (2006.01) |
| A 6 1 P | 3/02  | (2006.01) |
| A 6 1 K | 47/42 | (2017.01) |
| A 6 1 K | 47/02 | (2006.01) |
| A 6 1 L | 15/64 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 41/00 | (2006.01) |
| A 6 1 M | 37/00 | (2006.01) |

【F I】

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| A 6 1 L | 31/00 | Z     |
| A 6 1 K | 9/70  |       |
| A 6 1 P | 29/00 |       |
| A 6 1 P | 37/08 |       |
| A 6 1 P | 31/04 |       |
| A 6 1 P | 31/12 |       |
| A 6 1 P | 25/02 | 1 0 7 |
| A 6 1 P | 43/00 | 1 1 3 |
| A 6 1 P | 7/02  |       |
| A 6 1 P | 17/02 |       |
| A 6 1 P | 9/12  |       |
| A 6 1 P | 9/10  |       |
| A 6 1 P | 3/02  | 1 0 1 |
| A 6 1 K | 47/42 |       |
| A 6 1 K | 47/02 |       |
| A 6 1 L | 15/04 |       |
| A 6 1 P | 41/00 |       |
| A 6 1 M | 37/00 |       |

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月2日(2017.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固体フィブリノーゲンを含む第一のフィルム層であって、第一の組成物を第一の時間間隔にわたって処理して、該第一のフィルム層の第一の特性を生み出すことにより形成される、前記第一のフィルム層；及び

該第一のフィルム層と接着され、かつ固体フィブリノーゲンを含む第二のフィルム層であって、第二の組成物を第二の時間間隔にわたって処理して、該第二のフィルム層の第二の特性を生み出すことにより形成される、前記第二のフィルム層を含み、該第二の特性が、該第一の特性とは異なる、器具。

【請求項2】

前記第一のフィルム層が第一の治療剤をさらに含み、前記第一の特性が該第一の治療剤についての第一の放出プロファイルである、請求項1記載の器具。

【請求項3】

前記第二のフィルム層が第二の治療剤をさらに含み、前記第二の特性が該第二の治療剤についての第二の放出プロファイルである、請求項2記載の器具。

【請求項4】

前記第一の治療剤又は前記第二の治療剤又はこれらの両方が、1以上の抗炎症剤、抗アレルギー剤、抗菌剤、抗ウイルス剤、抗コリン剤、抗ヒスタミン剤、抗血栓症剤、抗瘢痕剤、抗増殖剤、抗高血圧剤、抗再狭窄剤、回復促進剤、ビタミン、タンパク質、遺伝子、成長因子、細胞、RNA、又はDNAを含む、請求項3記載の器具。

【請求項5】

前記第一の治療剤が、前記第二の治療剤とは異なる、請求項3記載の器具。

【請求項6】

前記第一の特性が、前記第一のフィルム層の第一の粘着性であり、前記第二の特性が、前記第二のフィルム層の第二の粘着性である、請求項1記載の器具。

【請求項7】

前記第一の特性が、前記第一のフィルム層の第一の溶解性であり、前記第二の特性が、前記第二のフィルム層の第二の溶解性である、請求項1記載の器具。

【請求項8】

前記器具が、水分への曝露に際し、フィブリンのパッチを形成するように設計される、請求項1記載の器具。

【請求項9】

前記第一の組成物の処理が、該第一の組成物を乾燥させることを含む、請求項1記載の器具。

【請求項10】

前記第一の時間間隔が、前記第二の時間間隔と異なっている、請求項1記載の器具。

【請求項11】

前記第一のフィルム層又は前記第二のフィルム層又はこれらの両方が、カルシウム塩、前記固体フィブリノーゲンに混合された固体トロンビン、可塑剤、器具を放射線不透過性にする造影剤、又はこれらの任意の組み合わせをさらに含む、請求項1記載の器具。

【請求項12】

前記第一のフィルム層又は前記第二のフィルム層又はこれらの両方が、保護層により被覆されている、請求項1記載の器具。

【請求項13】

前記第一のフィルム層及び前記第二のフィルム層の間に配置された中間層をさらに含み、該中間層が、分解して、該第一のフィルム層及び該第二のフィルム層の間に貯蔵空間、

孔、間隙、又は通路を作り出すように設計される、請求項1記載の器具。

【請求項14】

前記第一のフィルム層が、前記第二のフィルム層が形成される前に、前記第二の組成物と接着される、請求項1記載の器具。

【請求項15】

前記第一の特性が、表面突起、穿孔、マイクロ構造、ナノ構造、隆起、くぼみ、又はそれらの任意の組み合わせを含む前記第一のフィルム層の第一の表面粗度又はテクスチャー特性であり、かつ前記第二の特性が、表面突起、穿孔、マイクロ構造、ナノ構造、隆起、くぼみ、又はそれらの任意の組み合わせを含む前記第二のフィルム層の第二の表面粗度又はテクスチャー特性である、請求項1記載の器具。

【請求項16】

器具を製造する方法であって：

固体フィブリノーゲン及び第一の量の非水性溶媒を含む第一の組成物を、該第一の量の非水性溶媒を実質的に除去するのに必要な第一の時間間隔にわたって処理することにより、該第一の組成物から、第一のフィルム層を形成させること；及び

固体フィブリノーゲン及び第二の量の非水性溶媒を含む第二の組成物を、該第二の量の非水性溶媒を実質的に除去するのに必要な第二の時間間隔にわたって処理することにより、該第二の組成物から形成された第二のフィルム層を、該第一のフィルム層に接着させること；

を含み、該第一の時間間隔が、該第二の時間間隔と異なっている、前記方法。

【請求項17】

前記第二のフィルム層を前記第一のフィルム層に接着させることが、該第一のフィルム層及び該第二のフィルム層の間に配置された中間層を用いて、該第二のフィルム層を該第一のフィルム層に接着させることを含む、請求項16記載の方法。

【請求項18】

前記非水性溶媒の第一の量が、前記非水性溶媒の第二の量とは異なる点を除いて、前記第一の組成物が、前記第二の組成物と実質的に同一である、請求項16記載の方法。